

ゲーム
コーナー
で実演中



A- 学生のまちなか拠点づくり

浜松市の中心市街地は、さまざまな空きビルや活用可能なビルがあります。都市空間が空洞化しているのです。逆に捉えると、多くの活用可能な空間があるのです。ここに掲出の3カ所のビルは、一定期間（後期）借りることが可能です。
(協力：浜松市・浜松まちなかにぎわい協議会)
ここに学生の拠点を作って、地域に貢献できることはないでしょうか。
取り組み方やプログラムを企画し、実空間とデジタル空間が融合したデザインを提案しました。

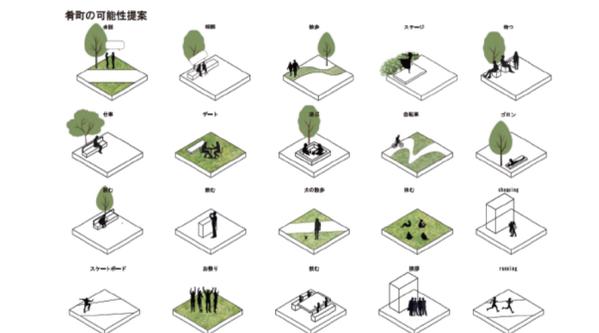


実施を
目指して
構想中

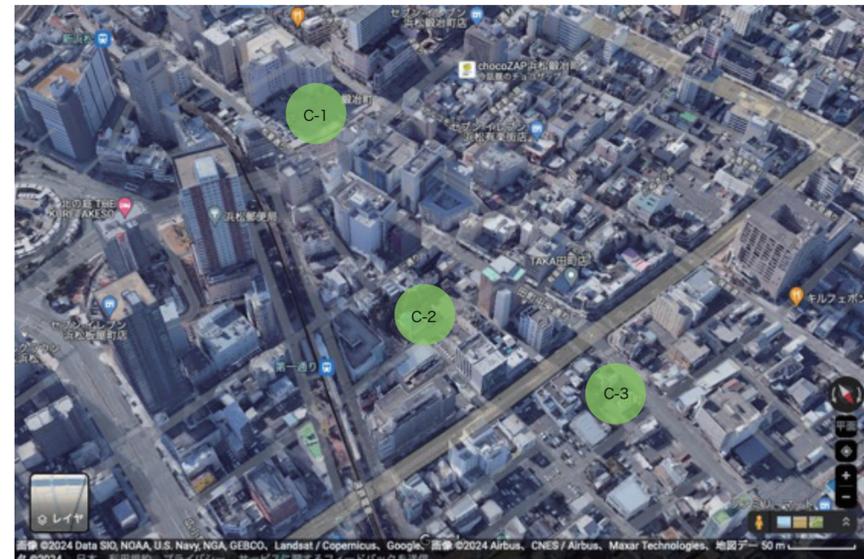


B- 肴町通りの活性化ツール

肴町商店街は、大通りではありませんが、歴史ある店舗や活発にワークショップなど開催している店舗がある個性豊かな商店街です。
ただ、なかなかその魅力が表出しませんし、販売ツールも地道なものです。
ここでは、店舗と通りの空間を繋いだり、販売に寄与したり、シャッターを閉めた夜間の雰囲気をも高めるデザインはできないでしょうか。
空間デザイン、デジタルツールのデザイン、シャッターのデザイン、駐車場の活用などを提案しました。



マップ
カフェ
実装



C- 歩きたくなるまちなか回遊路

浜松市の中心市街地は、公園や緑がほとんどありません。文芸大がある東街区（公園や緑が豊か）と比べ、散歩している人は少ない様子があります。
楽しいお店を発見したり、まちなかを周遊してもらうためにも、まずは歩きたくなる回遊性や魅力ある場所が必要ではないでしょうか。
まちなかの広大な空き地の活用法を出発点とし、魅力的な回遊路を発見し回遊ツールを提案しました。

